

2018/6/3(日)9:50-12:50 (受付開始 9:00)

抗うつ薬について改めて考えてみましょう

講座情報

抗うつ薬は、うつ病だけでなく不安症、疼痛などにも使用され、処方される機会が増えてきている。当日は改めてその効能や使い分け、さらには気をつけるべき副作用、そして当事者の視点などあらゆる観点から抗うつ薬について取り上げたい。

講演者情報

渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室 教授

プロフィール

1988 年 3 月 慶應義塾大学医学部卒業

<職歴>

1988 年 5 月 慶應義塾大学医学部研修医

1989 年 5 月 国家公務員共済組合連合会立川病院神経科

1991 年 5 月 医療法人財団厚生協会大泉病院

1997 年 4 月 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室助手

2006 年 4 月 慶應義塾大学医学部専任講師

2012 年 4 月 杏林大学医学部准教授

2014 年 4 月 杏林大学医学部教授

<専門領域>

臨床精神薬理 主に向精神薬の副作用・効果・アドヒアランス研究

主要著書:主著、編・共著書、監訳を含む

- ・今日の治療薬(南江堂)
- ・座談会 うつ病治療—現場の工夫より—(メディカルレビュー社)
- ・読むだけでコツがつかめる 問診カトレーニング(アルタ出版)
- ・モーズレイ処方ガイドライン第 10 版(アルタ出版)
- ・「うつ」の構造(弘文堂)
- ・精神科医×薬剤師クロストークから読み解く精神科薬物療法—多職種連携から生まれる新しいコミュニケーションの提案—(南山堂)
- ・レジリアンス—症候学・脳科学・治療学—(金原出版)
- ・別冊 NHK きょうの健康 よくわかるうつ病(NHK 出版)